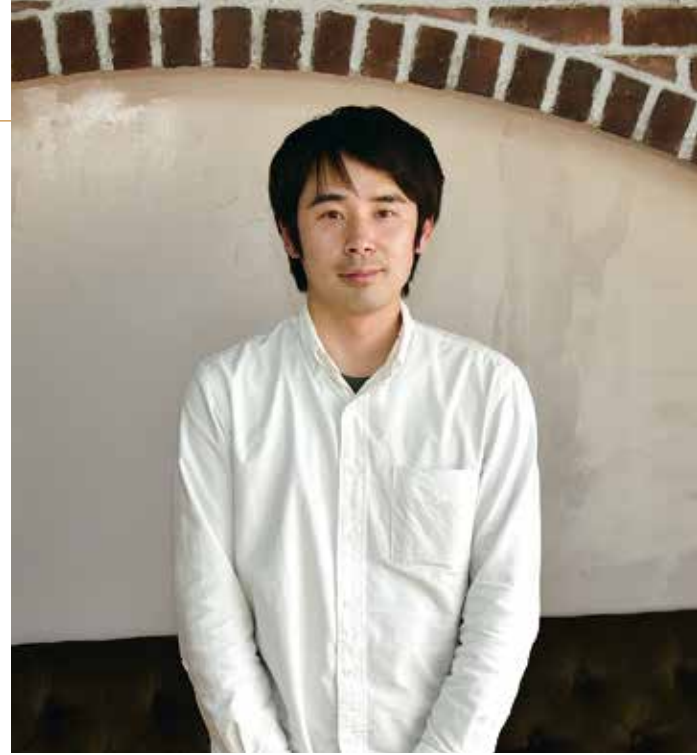


自分が楽しむこと 何よりみんなが楽しいこと

人々の働き方が多様化する中で「仕事場」の提供はもちろん、地域や人同士のつながりを生み出す拠点として注目を集めるシェアオフィス。今回は市内に3カ所あるシェアオフィスのうちの1つ、「DOORS」の代表・稲村さんにお話を伺いました。



いなむら たかゆき
稲村 隆行さん（本町一丁目在勤）

● DOORS 代表 / 合同会社 Oboro 代表社員



◀ DOORS のオフィス内。個人での利用から、複数人でのセミナー、イベントまで使える新たなまちの拠点。

（運営：合同会社 Oboro）

「元々、今の店舗の隣で会員制のカフェを営業していたんです。そこに集まる利用者さんたちの新たな挑戦をサポートしていたところ、隣の空き家も有効活用したいと思いついた。利用者さんの協力や市の支援制度を活用し、シェアオフィス・DOORS が誕生しました」

そう話す稲村さんも以前は、エンジニアやパティシエとして働いた経歴の持ち主。自身もさまざまなチャレンジを続けてきました。今後は「新しい扉」を開けて挑戦を始める人を応援する立場としてスタートを切ります。

「DOORS の特徴は、*コワーキングスペース・レンタルオフィスとしての活用のほか、利用者同士の交流も挙げられます。つい先日、絵を書くことが好きな利用者さんと、プロのイラストレーターさんとが『つながる』など、施設の利用によってこれまでになかった化学反応が生まれる場所に

もなっています」

まだまだ始まったばかりのシェアオフィス。より使いやすい環境づくりへ課題もありますが、それ以上にこの施設が持つ可能性に期待が膨らむと言います。

「日々、この場所で新たな出会いや体験がどんどん生まれています。私自身も楽しんでいますが、何より周りの人たちが楽しんでくれること、そしてそれがさらに多くの人たちに広がっていくことが嬉しいんです」

まずは気軽に利用してもらおう中で、夢や目標実現を後押ししたいと語ります。

「ぜひ、好きなことを『楽しむ』感覚でチャレンジをしてほしいですね。地域の空き家を有効活用する人がもつと増えると、燕のまち全体がさらに盛り上がり、燕のまちそのきっかけや人々の出会いの場を提供していきたいですね」

*コワーキングスペース…個人や起業したばかり（起業予定）の会社などがオフィスの基本設備を共有しながら仕事をする場所

市内シェアオフィスをご利用ください!
各施設の特徴をまとめた動画を公開中▶

宮町シェアオフィス

（運営：株式会社つばめいと）

ワークアップスタジオ 燕
Work up Studio 燕

（運営：株式会社 machinoki）

市では、テレワークの普及や地方移住への関心の高まりを背景に、シェアオフィスを整備し、管理運営を始める事業者を支援しています。詳細はこちらから▶

おかげさまで 県央エリアご利用 **11,000** 世帯

高速光インターネット

NCT 光

好評受付中!

インターネット 300Mbps + ケーブルテレビ + 固定電話

光おとく割 キャンペーン 月額 **6,600** 円 (税込)

※NHK受信料は含まれていません。表記の価格は税率10%に基づく税込金額です。*各種キャンペーンの適用には条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話
エヌ・シー・ティ 0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)
*上記時間以外・土日祝・年末年始は時間外受付に転送されます。

こちらは有料広告です。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。

広報つばめ 2022 5 発行/燕市 編集・企画/広報秘書課 広報広聴係 〒959-0295 燕市吉田西太田1934

0256-92-1111 FAX0256-92-2112 koho@city.tsubame.lg.jp https://www.city.tsubame.niigata.jp/

「声の広報つばめ」：広報つばめを音声にしたものを、燕市公式ホームページで聞けます (ダウンロードも可)。